

平成 27 年度

2級実験動物技術者認定試験

各 論
(ウサギ)

試験時間 : 13 時 00 分～15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 27 年 8 月 23 日

(公社)日本実験動物協会

各論：ウサギ

それぞれの設問について、該当するものを1つ選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

1. 次のうち、実験動物としてのウサギの主な用途はどれか。
 - 1) 抗生物質の検定
 - 2) 血清反応用補体の作製
 - 3) 免疫血清の作製
 - 4) 聴覚器の研究

2. ウサギの身体的特徴はどれか。
 - 1) ずんぐりとした体型で尾がない。
 - 2) 鎖骨が存在しない。
 - 3) 足底に無毛の肉球がある。
 - 4) 瞬膜をもつ。

3. ウサギの上顎切歯は何本か。
 - 1) 2本
 - 2) 3本
 - 3) 4本
 - 4) 5本

4. ウサギの骨格について正しい記述はどれか。
 - 1) 頭蓋骨は脳頭蓋、顔面頭蓋に大別される。
 - 2) 前肢骨は翼化している。
 - 3) 骨格は頭蓋骨と体幹骨から成り立っている。
 - 4) 歯芽の萌出状態で年齢を推定できる。

5. 未吸収の栄養分を再吸収するためのウサギの行動はどれか。
 - 1) 浅速呼吸
 - 2) 食糞行動
 - 3) 胸式呼吸
 - 4) 冬眠

6. ウサギの白血球のうち他の動物種の好中球に相当するのはどれか。
 - 1) 好塩基球
 - 2) 巨核球
 - 3) 好酸球
 - 4) 偽好酸球

7. ウサギと同じ食性を持つ動物はどれか。
- 1) スナネズミ
 - 2) モルモット
 - 3) フェレット
 - 4) シリアンハムスター
8. 健康なウサギの状態はどれか。
- 1) 被毛は光沢を欠く。
 - 2) 目が白濁している。
 - 3) 尿が白濁している。
 - 4) 糞が泥状である。
9. ウサギの赤血球の寿命は約何日か。
- 1) 50 日
 - 2) 85 日
 - 3) 100 日
 - 4) 120 日
10. ウサギの左肺は何葉か。
- 1) 1 葉
 - 2) 2 葉
 - 3) 3 葉
 - 4) 4 葉
11. ウサギの暫定的個体識別法はどれか。
- 1) 入墨法
 - 2) 首輪法
 - 3) 耳パンチ法
 - 4) 色素塗布法
12. ウサギの飼育器材について正しい記述はどれか。
- 1) 金属製ケージは保温性や住居性に優れている。
 - 2) 金網床を用いる場合は四肢の損傷防止を考慮した床網を選択する。
 - 3) 繁殖用ケージには分娩用の巣箱は不要である。
 - 4) 給餌器は床置き式が適している。

13. ウサギの品種または系統について正しい記述はどれか。
- 1) 多くの品種が存在するが、形態や特性に大きな違いはない。
 - 2) 確立された品種は主として動物実験用を目的として育種、改良されてきた。
 - 3) ウサギの系統作出作業において、近交退化現象はほとんどみられない。
 - 4) 近交系として確立された系統はきわめて少ない。
14. わが国において実験動物として多く用いられるウサギの品種はどれか。
- 1) フレミッシュジャイアント種
 - 2) 日本白色種
 - 3) イングリッシュ種
 - 4) チンチラ種
15. 毛皮用として用いられるウサギの品種はどれか。
- 1) フレミッシュジャイアント種
 - 2) 日本白色種
 - 3) イングリッシュ種
 - 4) チンチラ種
16. 日本白色種をもとに大型化したウサギの系統はどれか。
- 1) 秋田ジャンボ種
 - 2) フレミッシュジャイアント種
 - 3) ダッチ種
 - 4) ニュージーランドホホワイト種
17. 遺伝性高脂血症ウサギはどれか。
- 1) C3H
 - 2) WHHL
 - 3) Hartley
 - 4) ddY
18. 妊娠中のウサギ 1 日あたりの給餌量はどれか。
- 1) 30～60 g
 - 2) 80～100 g
 - 3) 120～160 g
 - 4) 180～250 g

19. 成熟ウサギ 1 日あたりの摂水量はどれか。
- 1) 50～100 ml
 - 2) 150～200 ml
 - 3) 300～500 ml
 - 4) 600～800 ml
20. 子ウサギが盛んに餌を食べ始めるのは生後いつ頃からか。
- 1) 2 週目頃
 - 2) 3 週目頃
 - 3) 4 週目頃
 - 4) 5 週目頃
21. ウサギの性質について正しい記述はどれか。
- 1) おとなしく、適正な取り扱い方法をとってれば咬みつくことはほとんどない。
 - 2) 神経質で警戒心が強く、不用意に手をだすと必ず咬みついたり、引っ掻いたりする。
 - 3) 何でも構わず掴んで、鋭い歯で噛む習性がある。
 - 4) 授乳中のウサギは一般にどの個体もおとなしい。
22. ウサギの制限給餌方法について正しい記述はどれか。
- 1) 残った飼料の劣化やウサギの過食を防止できる。
 - 2) 不断給餌法よりも省力化できる。
 - 3) 制限給餌法は不断給餌法よりも飼料が劣化しやすい。
 - 4) 哺乳中の子ウサギにも適した給餌法である。
23. ウサギを外部から受け入れた際に、飼育上、最も注意する点は何か。
- 1) 餌を必要以上に与える。
 - 2) 給水口の位置を覚えさせる。
 - 3) 受け入れた当日は給餌しない。
 - 4) 補助食を与える。
24. ウサギの取り扱いについて正しい記述はどれか。
- 1) ウサギが嫌がらなければ耳をつかんで持ち上げてよい。
 - 2) 肩よりやや下を頭側から尾側に向けて手のひらをあてて背部の皮膚を大きくつかみあげる。
 - 3) 無理やりに取り出したり、床に落としたりすると骨折することがある。
 - 4) 持ち運ぶ際には尾側を脇に挟み、手を軽く頸背部におく。

25. ウサギの細菌性の感染症はどれか。
- 1) トキソプラズマ病
 - 2) HVJ
 - 3) 耳疥癬
 - 4) パスツレラ病
26. ウサギの原虫性の感染症はどれか。
- 1) コクシジウム病
 - 2) センダイウイルス病
 - 3) 耳疥癬
 - 4) パスツレラ病
27. 「不正咬合」によって起こるウサギの異常はどれか。
- 1) 腰椎の脱臼
 - 2) 切歯の過伸長
 - 3) 四肢の開張
 - 4) 斜頸
28. ウサギの性周期について正しい記述はどれか。
- 1) 明瞭な発情周期がある。
 - 2) 交尾刺激により排卵が誘発される。
 - 3) 発情期には動きが活発になり奇声を発する。
 - 4) 外陰部は充血し徐々にピンク色になる。
29. ウサギの交配について正しい記述はどれか。
- 1) 交尾の確認は膣栓（プラグ）の有無で行う。
 - 2) 雌の外陰部がピンク色に変化したのを確認して雄を雌のケージに入れ同居させる。
 - 3) 雌の外陰部が暗赤色に変化したのを確認して雄を雌のケージに入れ同居させる。
 - 4) 追いかけて交配は妊娠と哺育を同時に進行させるものである。
30. ウサギの排卵は交尾何時間後に起こるか。
- 1) 約3時間
 - 2) 約5時間
 - 3) 約8時間
 - 4) 約10時間

31. ウサギの受精卵が子宮に着床するのは交尾後何日か。
- 1) 6～6.5 日
 - 2) 7～7.5 日
 - 3) 8～8.5 日
 - 4) 9～9.5 日
32. 触診によってウサギの胎子が確認できるのは交尾後何日目からか。
- 1) 9 日目
 - 2) 10 日目
 - 3) 15 日目
 - 4) 20 日目
33. 日本白色種の妊娠期間は平均何日か。
- 1) 28 日
 - 2) 29 日
 - 3) 30 日
 - 4) 31 日
34. 日本白色種の新生子の体重はどのくらいか。
- 1) 40～80 g
 - 2) 100～120 g
 - 3) 150～180 g
 - 4) 200～250 g
35. ウサギの分娩について正しい記述はどれか。
- 1) 母親は自分の子以外の子に哺乳しない。
 - 2) 新生子はすでに被毛が生えた状態で生まれてくる。
 - 3) 母親は妊娠後期には哺育箱の中で巣を作り始める。
 - 4) 産子数に関係なく新生子の体重値は一定である。
36. 小型種のウサギの平均産子数はどれか。
- 1) 4 匹
 - 2) 6 匹
 - 3) 8 匹
 - 4) 10 匹

37. ウサギの子が餌を食べ始めるのは生後何日頃か。
- 1) 7日頃
 - 2) 10日頃
 - 3) 15日頃
 - 4) 20日頃
38. 離乳前の子ウサギの体重測定に用いる天秤の感量はどれか。
- 1) 2 g
 - 2) 10 g
 - 3) 1 kg
 - 4) 4 kg
39. 離乳前の子ウサギの体重測定に用いる天秤の秤量はどれか。
- 1) 2 g
 - 2) 10 g
 - 3) 1 kg
 - 4) 4 kg
40. ウサギの体重測定法について正しい記述はどれか。
- 1) 体重測定値は発育状態を把握できるが、健康状態は把握できない。
 - 2) 体重測定は一定の時刻に行うように心がける。
 - 3) 制限給餌中は給餌後に測定し、空腹時をさけて測定する。
 - 4) 離乳前のウサギとそれ以上の大きさのウサギに使用する天秤の秤量は同じでよい。
41. 皮膚反応試験に適したウサギの固定器はどれか。
- 1) 背位型固定器
 - 2) 箱型固定器
 - 3) 円筒型固定器
 - 4) 首かせ型固定器
42. 発熱性試験に適したウサギの固定器はどれか。
- 1) 背位型固定器
 - 2) 箱型固定器
 - 3) 円筒型固定器
 - 4) 首かせ型固定器

43. 皮膚反応試験に適したウサギのヘアサイクルの時期はどれか。
- 1) スムーススキン
 - 2) ラフスキン
 - 3) アイランドスキン
 - 4) ドライスキン
44. 成熟ウサギの経口投与に適したネラトンカテーテルのサイズはどれか。
- 1) 直径 1.2 mm×長さ 80 mm
 - 2) 直径 1.5 mm×長さ 120 mm
 - 3) 直径 5.5 mm×長さ 330 mm
 - 4) 直径 6.0 mm×長さ 330 mm
45. ウサギの経口投与方法について正しい記述はどれか。
- 1) 開口器をかませたら舌を開口器の上に出し、カテーテルを開口器の穴に通し胃内にすばやく挿入する。
 - 2) 胃内に確実に入ったことを確かめるには、カテーテルに注射筒を装着して内筒を引き、空気が入ってこないことを確認する。
 - 3) 保定者は、両前肢と耳根部をしっかりと握り両前肢をまっすぐに上に上げ腰部を膝の上に置く。
 - 4) 注入量の上限は 100 ml/kg とする。
46. ウサギにおける筋肉内投与の投与部位はどこか。
- 1) 大腿部
 - 2) 頸背部
 - 3) 股部
 - 4) 腹部
47. ウサギにおける腹腔内投与の最大注入量の目安はどのくらいか。
- 1) 2 ml
 - 2) 5 ml
 - 3) 10 ml
 - 4) 20 ml
48. ウサギにおける耳介辺縁静脈からの適正な採血量はどの程度か。
- 1) 2～5 ml
 - 2) 10～15 ml
 - 3) 20～30 ml
 - 4) 40～50 ml

49. 無麻酔下で実施可能なウサギの採血部位はどれか。

- 1) 後大静脈
- 2) 心臓
- 3) 頸動脈
- 4) 耳介辺縁静脈

50. 代謝ケージを用いた場合のウサギ1日あたりの採糞量はどのくらいか。

- 1) 20～40 g
- 2) 50～70 g
- 3) 80～100 g
- 4) 120～150 g